

令和7年度入試（令和6年度実施）の解答・解答例について

入試区分	大学院（二次募集）
試験区分	専門科目（看護学専攻）
解答・解答例	<p>I</p> <p>問1</p> <p>【解答例】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 氏名 2. 生年月日 3. 性別 4. 診療情報 5. 調剤情報 6. 健康診断結果 7. 個人番号（マイナンバー） 8. 国籍 9. 保険者番号 10. 人種 11. 宗教（信条でも可） 12. 保健指導の内容 13. 障害（身体障害，知的障害，精神障害等）の事実 <p>他にも，住所，肩書（社会的身分でも可），DNAの塩基配列，基礎年金番号，住民票コード，パスポート番号，指紋，光彩，声紋，掌紋，歩行態様，手指の静脈，顔画像（顔写真，顔認証データでも可），犯罪の経歴，犯罪により害を被った事実，刑事事件に関する手続が行われたこと，少年法上の手続が行われたこと，健康保険法に基づく被保険者番号・記号，等がある。</p> <p>問2</p> <p>【解答例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者間や第三者との会話において，患者の個人名や部屋番号などとともに，個人情報に関する情報を含む内容を周囲に聞こえる状態で会話する，またはSNS等に掲載する。 ・病室や居宅の訪問時に，個人情報が記載された画面や紙面を第三者

	<p>看護職が、対象の個人情報を適正に取り扱うことにより信頼関係を築きやすくなります。また、情報漏洩のリスクを回避するという意味もあります。対象の個人情報、特に遺伝性の疾患や余命等が漏洩した場合、それによって対象の生活やその家族に不利益が生じる可能性があります。さらに、看護の質の保証にも影響します。対象は、情報が正確で安全に管理されると信じられなければ、ケアに必要な正確で十分な情報を開示することはないためです。これらの理由から、看護職は患者の個人情報を適正に保護することが求められます。</p>
備考	解答例はあくまで標準的な解答の一例です。